



平成31年城南島連合会 新春賀詞交歓会 ドキュメント

新春賀詞交歓会にご出席いただいた来賓各位のうち、5人の方のスピーチと、大久保茂忠・当会副会長の中綴め挨拶と、恒例の新春ライブコンサートの紹介を会場風景と合わせて掲載します。

より良い社会のためには雇用と働き方の改革が必要

衆議院議員  
平 將明

今年は元号も新しくなります。新年会を回りますと、新元号とか新天皇の話がよく出ますが、私としては経済のお話でいこうと思います。昨年もお話し合いましたが、日本経済にはいくつかの課題がございまして、その中の一つは労働者不足で、もう一つは賃金が上

宿題をいただいていておりましたことですが、外国人労働者の問題を新しい仕組みを作つてしつかりやろうと考えてまいりました。海外から単に低賃金の人を入れるのではなく、これからは技能に着目して入れましよう、これが今回の法律であります。これは僅か一年で形になりました。ただ現在、マクロで36万人という条件をつけていますが、条件は状況を見ながらやっていければいいのではないかと私は思います。

になつちやうのですが、ここに今年どこまで踏み込めるかが問題だと私は思つております。

また、今年の経済はやはり中国とアメリカの通商問題が懸念材料でありますて、十二月もすでに中国向けの機械輸出が落ち始めていますので、ちょっと油断を許さない状況にあります。今年もぜひ皆さま方から現場のお話をいろいろとお聞かせいただいて、政策立案に活かしていきたいと思っておりますので、どうぞ

羽田アクセス線、蒲蒲線の整備

促進にしてかり取り組みたい

データを入れても、2030年にはまだ180万人ぐらい足りません。それで、これは大田工連会長の舟久保さんからも

ん。なぜなら、賃金が上がらないのは正社員が流動化していないところに問題があるからです。そのことは、正社員が流動化しているローソンやセブンイレブンのアルバイトの人たちの賃金は上がつていることでもわかります。これはちょっと悪い言い方になるかもしませんが、日本では解雇することが出来ません。逆説的な言い方になりますが、賃金が上がらない原因はここにあるのです。そこで、ここは働き方改革第二弾をやらなくちゃいけないのでですが、これがけつこう

大田区にはかつては中小企業が一万社  
あります。

## 区内企業発展のための経済産業政策に取り組んでいく

場の皆様が使いやすいよくな制度になっていくよう、これからも取り組んでいきたいと考えております。

また、先ほど中澤会長も言われました  
が、今年はラグビーのワールドカッ  
プ、そして来年はいよいよ2020東京  
オリンピック・パラリンピックが開催さ  
れます。そういった中で羽田国際空港の  
玄関口にある城南島連合会の皆様にとつ  
ても、アクセスの強化はますます重要に  
なつてまいります。東京都も羽田アクセ  
ス線、新空港線（蒲蒲線）の整備促進に  
向けてしっかりと取り組んでいくことを  
お約束申し上げます。

そして、平成から新しい元号の年を迎  
える本年、城南島連合会の各企業の皆様  
のご発展を心から祈念申し上げます。本  
年もよろしくお願い致します。





